

## 式辞



雄大な利根の流れと早苗田の水面が輝き、穏やかな風のそよぎと里山の緑が日に日に色濃く感じる本日、香取市合併10周年記念式典を挙げていただきましたところ、公私ともにご多用の中、千葉県副知事 高橋 渡 様をはじめ、多くの御来賓の方々、並びに市政発展にご尽力賜りました皆様にご臨席を賜り、心から御礼申し上げます。

香取市は、平成18年3月27日、佐原市、小見川町、山田町、栗源町の合併により誕生し、私は、市長として、これまで一貫して市政の舵取りを担ってまいりました。この間、豊かな自然や歴史・文化的資源を基軸とし、市民協働によるまちづくりを進め、一体感の醸成と融和に全力を傾注してまいりました。

この10年を顧みますと、合併後のまちづくりは、多くの市民や職員が初めて経験する取り組みであるほか、日々、新たな目標への挑戦でありました。

香取市として、各事業や料金など、行政サービスの統一を図るほか、将来を見据え、行政組織の改編や職員数の削減を進めるとともに、類似施設の保有や老朽化に対応し、教育施設、市民活動施設の整備など、有効活用と適正配置を考慮しながら、不断なく取り組んでまいりました。

また、総合計画に基づく個別計画を策定し、各分野の方向を明らかにしながら、香取市の基礎・基盤づくりを着実に進めることとし、幹線道路や公園等の都市・公共基盤の整備をはじめ、企業誘致等の産業振興施策、ひいては住民福祉の向上に誠心誠意、努めてきたところであります。

一方、平成23年3月の東日本大震災は、香取市にも液状化等の未曾有の被害をもたらしました。被災後の5年間は、国・県及び全国の皆様から温かいご支援をいただくとともに、市民の皆様にご協力を得ながら、復旧、復興を第一に考え、市政運営を進めてきたところであります。

現在では、復旧工事が完了し、復興の歩みを速める時期に入り、市民の皆様とともに合併10周年を祝うまでに至りました。

そして、今ここに新たな段階へと進む扉が開かれました。

少子高齢化や人口減少対策に正面から取り組むほか、行財政改革の一層の推進等々、課題が山積みするなか、地域の特性を見つめ、魅力や資源を最大限に生かし、磨きをかけ、『一人ひとりの市民が輝く活気みなぎるやすらぎの郷 香取』の実現に邁進する決意をいたしております。

本日は、「合併 10 周年 記念表彰」を併せて執り行います。受章される皆様の長年のご労苦と顕著なご功績に、深甚なる敬意と感謝を表しますとともに、香取市の発展のため、引き続き、ご支援をいただきますようお願い申し上げます。

“幾本もの道を 確かな一本に束ねて”

合併により誕生した香取市は、今後も輝かしい実績と歴史を重ねてまいりたいと存じます。また、香取市の更なる発展と飛躍のため、先達の尊い意志を引き継ぎ、市民の皆様と思いを一つにしながら、力強くまちづくりを進めていく所存でありますので、関係各位の、より一層のご支援ご協力を賜りたく、お願い申し上げます。

本日ご臨席ご出席をいただきました皆様方のご健勝ご多幸をお祈り申し上げ、私の式辞とします。

平成 28 年 4 月 24 日

香取市長 宇井成一